

トビウオ通信 (H20 第 7 号)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《平成 20 年度第 2 回日本海海況予報》

当技術センターを含めた北海道から山口県までの水産研究機関と独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所が協議してとりまとめた第 2 回日本海海況予報(7 月 4 日付け)が発表されましたので、その内容に最近の動向を加味して、今後の山陰沖の海況を予測します。

今後の山陰沖の海況見通し (2008 年 7~9 月)

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は、徐々に北東に移動する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは平年並み、山陰・若狭沖のそれはやや弱い。
- (3) 山陰沿岸の表面水温は、かなり高めで経過する。
- (4) 山陰沖の 50m 深水温は、平年並みで経過する。

2008 年 3 月~2008 年 5 月までの経過

- 3 月に隠岐諸島北東でみられた暖水域は、金沢沖に移動した後、ほぼ停滞。
- 島根沖の冷水域は、規模および接岸状況とも平年並み。
- 山陰・若狭沖の冷水域は、規模は平年並みで、やや接岸傾向にありました。
- 対馬暖流域の表面水温は、3 月は概ね「平年並み」、4 月は隠岐諸島西方で「やや低め~かなり低め」、それ以外は「平年並み~やや高め」、5 月は隠岐諸島北西及び島根沿岸で「やや低め~かなり低め」、隠岐諸島東方では「かなり高め~はなはだ高め」となりました。

現況(2008 年 6 月) 別添模式図参照

- 暖水域は隠岐諸島北東に分布しています。
- 島根沖の冷水域は、規模は平年並みで接岸しています。

- 山陰・若狭沖の冷水域は、規模は小さく、接岸状況は平年並みです。
- 対馬暖流域の表面水温は、島根沿岸では「かなり低め」となっています。
- 対馬暖流域の 50m 深水温は、日本海西部では「平年並み」となっています（4～6 月の平均）。

山陰沿岸の現在の水温動向と今後

- 当センターが定期的に観測を行っている浜田市沿岸の水温は、7月中旬以降急激に水温が上昇し、平年より 2.0℃高くなっています（図 1）。
- また、気象庁の季節予報（8～9 月）によると日本海西部の沿岸地域では平均気温は高くなるとされています。
- よって、今後水温の上昇傾向が続き、台風等による海域の大きな攪拌がなければ、山陰沿岸の表面水温は「かなり高め」で経過すると推定されます。

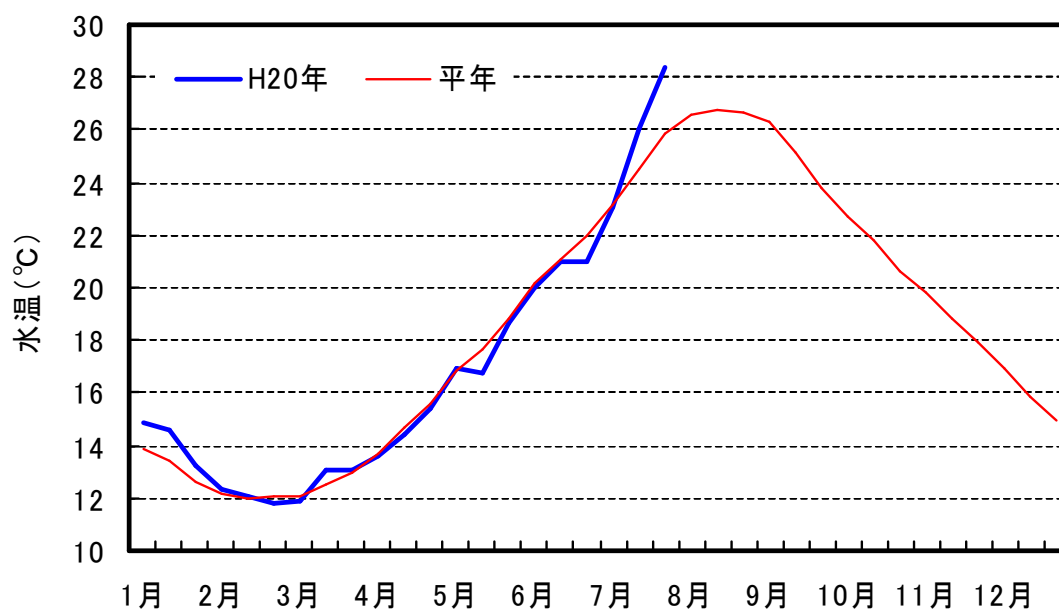
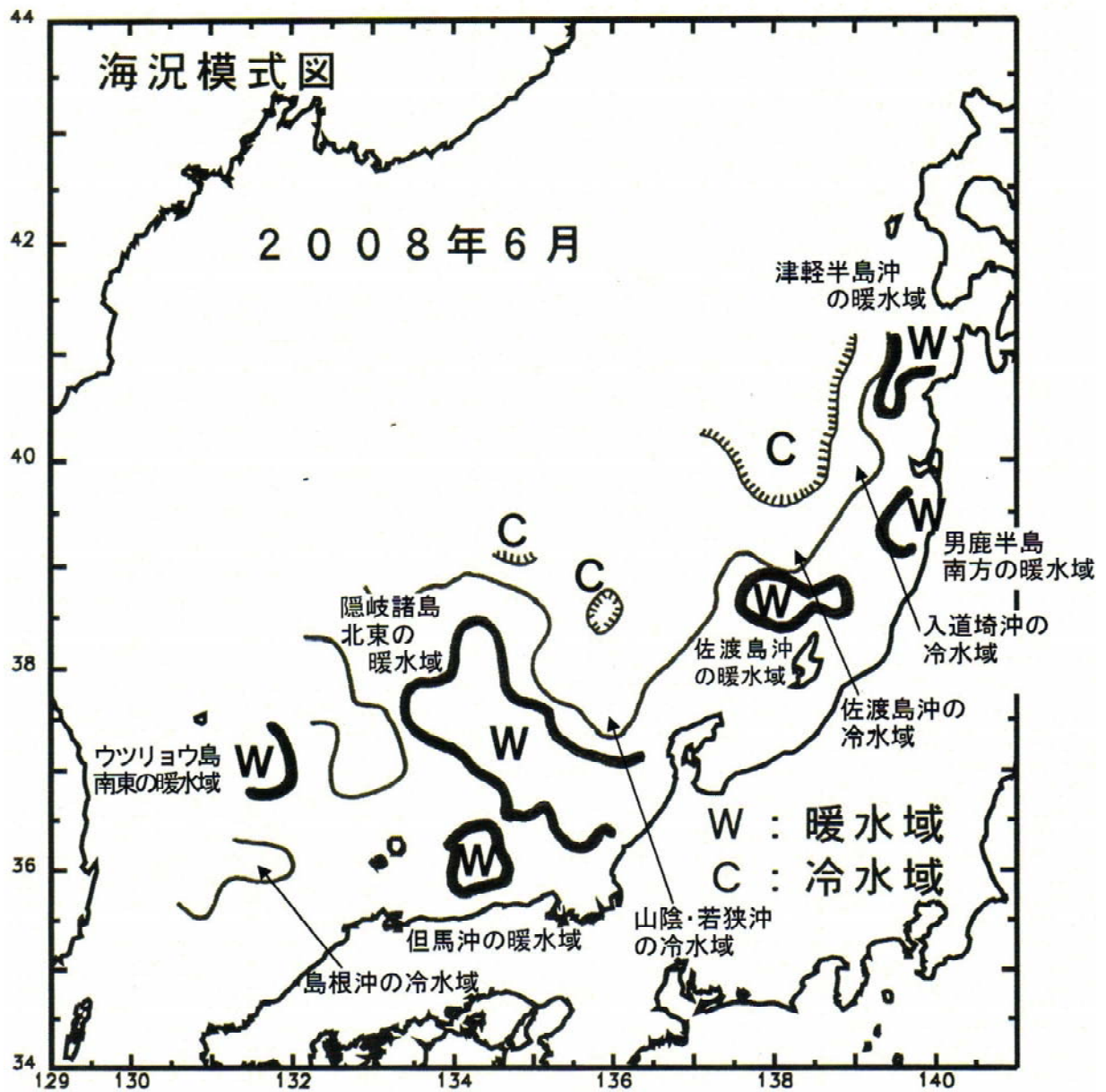


図 1 浜田市沿岸の水温の推移（平年は過去 25 年間の平均水温）



2008年6月の海況模式図